

認定心理士資格は公益社団法人日本心理学会が認定する資格で、「心理学の専門家として仕事をするために必要な、最小限の標準的基礎学力と技能を修得している（日本心理学会 HP）」ことを証明する資格である。つまり認定心理士は、大学で心理学の標準的な基礎教育を受けたことを証明する資格である。この資格は、文部科学省・厚生労働省の管轄による心理職の資格である「公認心理師」や大学院修士課程（臨床心理学研究科）における「臨床心理士」（日本臨床心理士資格認定協会による）とは異なる資格である。

認定心理士資格は、在学中に心理学を中心に別表に示された要件を満たすように単位を修得することで取得できる。資格申請は郵送か web 上で行う。ただし web 上で申請する場合にも一部書類（証明書等）は郵送が必要である。

※手続きや資格要件の詳細は「日本心理学会」のウェブサイト（<https://psych.or.jp/qualification>）を参考にすること。申請用書類や書き方の例が載っている「資格申請の手引き」も pdf ファイルで入手できる。

【「認定心理士」資格取得に際して】

1. 該当する科目 36 単位以上を取得すること。

- ・「基礎科目」「選択科目」「その他の科目」の 3 領域についてそれぞれに科目内容と単位数に指定と制約がある。
- ・「基本主題」に該当する科目は修得単位数がそのまま認定に採用されるが、「副次主題」となっている科目は修得単位数の半分となる。たとえば、2 単位副次科目は 1 単位として計算する。

2. 心理学関係科目修得単位表（申請用・様式 3）※2022 年 6 月 22 日より、様式に一部変更あり

- ・申請時の様式 3 には、「科目名」「内容」「担当教員・職名」などを記入する必要がある。
※科目内容はシラバスを参考に記入する。なお、担当者が複数いる場合もすべての担当者をフルネームで記入する。書ききれない場合は余白を利用する。担当教員の職名は申請者が受講した時点での職名である。非常勤講師の場合「兼任講師」とする。科目内容の記述が不十分だったり曖昧だったりする場合、申請書が返送され書き直しを要求されることがあるので注意すること。
- ・基礎科目 a と b と c に該当する科目は、シラバスのコピーを添付する必要がある。
※修得した科目のシラバスのプリントアウト・データを手元に残しておく。
- ・様式の一部変更により、「指導教員あるいは学科の教務委員などによる署名捺印」が不要となった。

3. 申請には、認定心理士資格認定申請書（様式 1）、履歴書（様式 2）、心理学関係科目修得単位表（様式 3）、基礎科目 c 領域実験・実習課題リスト（様式 4）、成績証明書、卒業証明書などが必要となる。必要書類を日本心理学会の HP で確認して入手・準備しておくこと。

- 4 年生や 3 年生などで修得単位表の作成を進めている学生は、記入用紙をまずコピーし、そのコピーに申請内容を記載する。記入済み用紙を持参してオフィスアワー等に担任に相談すること。

認定心理士(心理調査) (通称：心理調査士) 資格について

認定心理士(心理調査)とは、認定心理士の上位資格であり、認定心理士の資格の要件を満たしており、かつ、心理調査を活用できる人材に与えられる資格である。

※認定心理士は、「心理学の専門家として仕事をするために必要な最小限の標準的基礎学力と技能を修得している」と日本心理学会が認定する人のこと。一方、認定心理士(心理調査)は、認定心理士の中でも「心理調査に関連する専門科目を履修した認定心理士」であると日本心理学会が認定する資格である。

※認定心理士資格同様、職業に直結する資格ではなく基礎資格である。

認定心理士(心理調査)の資格を取得するには、認定心理士の指定科目に加え、心理調査に関連する科目を履修する必要がある(以下の表を参照)。認定心理士(心理調査)は電子申請のみ受け付けている。「認定心理士資格」と「認定心理士(心理調査)資格」を同時申請する場合は、申請期間が短いので注意が必要である(例：2023年3月の卒業生は2023年4月末まで同時申請を受け付けている)。

手続きや資格要件の詳細については「日本心理学会」のウェブサイトを参考にすること。

https://psych.or.jp/qualification/shinsei_shinrityousa_densi/

https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2020/12/shinrichosa_manual.pdf (認定心理士に関するお知らせページの2020/12/28にリンクがある「心理調査士資格申請の手引き」)

カリキュラム認定のために必要な科目 (予想)

	領域	該当科目名例 ※基本主題のみ記載	本学開講科目	必要単位
1 概論	心理調査概論・心理調査法 (心理調査を構成する主な領域に関し均衡の取れた、基礎知識を習得するための科目)	心理調査概論 心理調査計画法	心理学研究法(2019年度以降入学生) 全学共通特別演習(2018年度入学生のみ)	2
2 統計	心理学統計 (基礎統計学、推測統計学、多変量解析など心理学に用いる統計に関する講義であるが一部に計算の実習などを含むことは差し支えない)	心理統計法 心理データ解析法 多変量解析法 情報処理実習(心理学実験・調査データ処理に関する講義・実習)	心理学統計法	2
3 実践	発展／展開研究(実習) (調査・実験・観察・面接・尺度構成・検査などの方法を用いて、自ら計画し、データの採取、処理、解析を行い、報告書の提出を行う実習等、卒業論文も4単位まで認める)	卒業論文(単著：4単位；連名：2単位とする) 課題演習・特殊実習・研究実習・上級実習など(基礎実験と卒業論文の間の性格をもつもの)	心理学課題演習 卒業論文	6

	1年次	2年次	3年次	4年次
2018年度入学生		心理学統計法 (久藏先生) <u>全学共通特別演習</u> (久藏先生) ※2020年度で開講終了	心理学課題演習 (森先生)	卒業論文
2019年度以降入学生	心理学研究法 (伊藤先生)	心理学統計法 (久藏先生)	心理学課題演習 (森先生)	卒業論文